

平成29年度新任教員研修を実施しました

7月27日(木)、28日(金)の2日間、小田急線相模大野駅前にある相模原市立市民・大学交流センター（ユニコムプラザさがみはら）において、新任教員向けの研修を実施しました。大学所属の教員だけでなく、併設校（保健衛生専門学院）の教員も含めて、1日目は37名、2日目は35名が参加しました。

1日目は人事部が担当し、川上 倫人事担当常任理事の挨拶、小林弘祐理事長、伊藤智夫学長による講話のほか、(株)日本ODコンサルタントの近藤裕子氏を講師に迎え、グループワークによる討議を中心に、場面や状況に応じた指導方法や学生との信頼関係形成のためのコミュニケーション技法について学び、それぞれが目指す教員像を発表しました。

2日目は高等教育開発センターが担当し、岡野安洋センター長の挨拶で始まりました。健康管理センターの大町知久講師による「最近の学生気質と学生相談の傾向」についての講演、前田崇センター員（一般教育部）による「学生調査結果に見る本学の学生像」の講演のほか、高橋勇センター員（一般教育部）、田口明子センター員（医療衛生学部）によるFDワークショップを行い、「学生とどう向き合うか」についてディスカッションしました。

2日間の研修を通じて教員同士の交流も深めることができ、それぞれの教育現場に戻った参加者には、今後の活躍が期待されます。

